

令和7年度 高南LMOつながり隊 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・HPを開設し、積極的に情報発信を行うことで地域での認知度を高めることができた。
・地域課題のうち、一番深刻な住民間のコミュニケーション不足を解決するため、秋祭りを開催し、新たなにぎわいづくりの場を創出することができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	志和口駅の周辺を整備して賑わいを創出して活性化を図る	(5)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	志和口駅並びに周辺地区内施設	
(3) 参加者数	50 人	
(4) 主催団体	団体名 高南LMOつながり隊	
4 取組内容		
①. 駅舎周り及び駅周辺の美化活動を行った。 ②. 駅周辺及び地区のまち歩きマップを作成し、情報発信を行った。 ③. 駅周辺の空き地有効活用策の検討と駅舎を利用したイベントを開催した。 ④. コミュニティバスの導入及び乗合タクシー等の導入に向けたアンケートを実施した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・志和口駅舎周り及び駅周辺の空き地の有効活用による地域の活性化を図るため。 ・志和口駅を起点とした地域の情報発信を行うことで、地域住民を中心に、地域内の情報を周知するため。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・美化活動や街歩きマップ作成により地域の魅力を向上させることで、駅利用者並びにJRでの来訪者を増やすことにつながった。 ・情報発信をすることにより、来訪者の増、移住者の増などに効果があり、空き家の解消にもつながる取組となった。 ・アンケート調査の結果をもとに、駅を起終点とする二次交通の確保に向けて検討するための基盤が整った。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	芸備線利用で年末のしめ縄づくり講習会開催	(5)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年12月20日 ~ 令和7年12月21日	
(2) 実施場所	白木公民館	
(3) 参加者数	300 人	
(4) 主催団体	団体名 高南地区自治会連合会 (後援: 高南 LMO つながり隊)	
4 取組内容	毎年1日目の昼から、地域の方と小中学生により、しめ縄の材料を収集、仕分けといった前日準備を行った。2日目、朝から参加者が集まり、しめ縄づくり講習会が行われた。 このしめ縄講習会では、幼児からお年寄りまでが参加し、地域の方とのふれあいの場として賑わった。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・志和口駅の利用者を増やすことにより地域の活性化が図るため。 ・地区内外への情報発信により高南地区の魅力をPRするため。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) LMOのブログ等を活用して広く地域内外へ情報発信をすることにより、JR利用による来訪者を増やすことができ、高南地区の活性化に向けた取組としてアピールすることができた。また、若い世代がしめ縄づくりを体験することができ、伝統文化の継承に寄与した。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	芸線利用で第 12 回健康ウォーク i n 高南開催	(5)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月30日	
(2) 実施場所	高南地区内 (JA白木～志和口駅～関川～志和口駅～JA白木)	
(3) 参加者数	127 人	
(4) 主催団体	団体名 健康ウォーク i n 高南実行委員会 (後援:高南 LMO つながり隊)	
4 取組内容	毎年、社協事務所前からスタートして6キロを歩き、開催の都度、異なるルートを考案して、高南地区の自然や見どころを伝え、高南地区の良さを体感してもらえた。 参加者は、幼児から高齢者まで幅広く、協力してゴールを目指して歩いた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	ウォーキングイベントは、今までも 100 人前後の参加者がいる中、地区の交流や健康増進に役立っているが、駅周辺や駅と芸備線とのタイアップを図ることで、LMOが進めるプロジェクト事業として駅周辺の活性化を図る。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	ウォーキング参加者に、駅についての知識を深めてもらい、また、広報や実施状況の情報発信などにより、地区内住民に広く周知することで、高南地区が魅力ある地域行事を実施している地区であるという認識が高まることにつながった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	高南地区の教育を考えるプロジェクト	(5)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	広島市立高南小学校グラウンド 他地域	
(3) 参加者数	①約200人、②約100人	
(4) 主催団体	団体名 ①高南地区社会福祉協議会、②高南LMOつながり隊	
4 取組内容	① 高南ふれあい運動会支援事業 高南小学校の運動会の時間内に、地域の運動会を同時に行った。 地域の運動会では3競技(「玉入れ」「大玉転がし」「神輿リレー」)を行い、児童も参加し、地域全体でコミュニケーションを図ることができた。 ② 子供体験教室事業 「かけっこ教室」は、令和8年1月28日に高南小学校のスーパー体育(授業)の中で実施し、低学年と高学年に分かれて1時限ずつ実施した。広島陸連の指導者から走り方や技術を習得するとともに、走ることの楽しさ感じてもらうことができた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ① 高南学区の地域住民、児童及び次年度入学予定の児童の交流を促進することを目的として実施し、児童と地域住民が一緒に競技することで、地域の活性化を図る。 ② 子どもたちの体力向上や、地域と学校がコミュニケーションを図ることを目的とし、高南地区ならではの体験機会を創出する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ① 小学校の運動会と地域の運動会を合同で行うことにより、地域住民とのコミュニケーションを図ることができた。また、地域の賑わいを創出することができた。 ② 広島陸連の方による指導を通じて、子どもたちの運動能力向上やスポーツに関心を持つきっかけづくりになった。児童や先生はもちろんのこと、見学した保護者や指導者らとの交流する機会にもなり、地域の活性化に寄与した。また、この事業を行う上で、地域住民が安心してスポーツ活動を行える安全な環境を整備するため、防球ネットを設置することで、複数の団体がグラウンドを安全に利用できる環境が整い、地域活動の振興につながった。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	白木地域活性化秋祭り	(5)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月8日	
(2) 実施場所	JA 白木農業祭会場および周辺	
(3) 参加者数	850 人	
(4) 主催団体	団体名 高南LMOつながり隊	
4 取組内容	JA白木農業祭が開催された同日夕方から、地域を盛り上げる秋祭りを開催した。 ・子ども向け：さいねい龍二さんを招き、白木地区の子ども対象の「戦隊ヒーローオーディション」を実施。合格者はさいねい龍二さんと共にオリジナル戦隊を結成し、ステージでパフォーマンスを披露した。 ・大人向け：白木地区の店舗や地域の方に出店の依頼をし、食を通じて大人も楽しめる交流の場を提供した。 ・ステージイベント：地域住民による伝統芸能や学生パフォーマンス、さいねい龍二さんによるトークショーなどを実施し、多世代が楽しめるプログラムを提供した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	少子高齢化が進む安佐北区白木町では子どもたちも遊びに行くのも繁華街や行楽地となっている中、子どもたちの楽しみの場を増やしていき、外食の機会が少ない高齢者にも地域の飲食店が出店することで親しんでもらい、親交を深める。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	・子どもの健全育成・地域愛醸成：ヒーロー体験を通じ、子どもたちの創造性・協調性を育み、地域への愛着を深めることができた。 ・地域コミュニティ活性化：JA 農業祭との連携で交流を促進し、地域住民の絆を深め、活気ある地域づくりに貢献できた。 ・地域経済活性化：地域特産品販売や地元飲食店への機会提供で、地域経済の活性化を図ることができた。 ・白木地区の魅力発信：地域内外へ白木地区の魅力を発信することで、地域の価値向上の第一歩につながった。	

3 自主財源で実施した事業

特になし